インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名(フリガナ)			
フリガナ) ヨコハマシリツダイガク	フリガナ) コクサイソウゴウカガクブ	フリガナ) フジサキゼミナール	
横浜市立大学	国際総合科学部	藤崎ゼミナール	

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名(フリガナ)	代表者名(フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有·無)
フリガナ) ウーチャンダイスキッコクラブ	フリガナ) シンザトタイシ	4人	無
うーちゃんだいすきっ子くらぶ	新里泰司		

研究テーマ(発表タイトル)

University for ELDERLY people

※必ずく企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要(目的・狙いなど)

高齢化が進展しているが、私たちは高齢化の問題点のひとつである、「地域コミュニティの弱体化」という点が気になった。ここで地域コミュニティを今後強化していくために、私たちにとって最も身近である「大学」を利用できないかと考えた。地域の大学生との交流を通して地域コミュニティを強化する。そのためには異世代間の交流を活発にする必要がある。また、高齢者側も「退職後の生きがいの喪失」といった不安も抱えており、「学習」を新たな生きがいにし充実したセカンドライフを「大学」で創出できないかと考え、「大学×高齢者」の新たな教育制度を提案する。

2. 研究テーマの現状分析(歴史的背景、マーケット環境など)

高齢者向けの大学での授業展開としては、まず一つの前例として「立教セカンドステージ大学」という高齢者のみが入学できる一年制の大学がある。カリキュラム内での授業展開から高齢者がどのような授業を求めているのかをある程度把握できた。しかしセカンドステージ大学は「高齢者向けの大学」であるため異世代間の交流が少なく、私たちが求める授業展開ではなかった。

またもう一つの前例として、横浜市立大学での取り組みのひとつに「科目等履修生制度」がある。これは「科目等履修生」として、横浜市立大学が定めた対象履修科目を20単位以内の科目を履修できる制度である。この制度は、一般入学生と同じように講義を受け、条件を満たせば学位獲得もできる。講義も横浜市大生と同じように履修できグループワークなどもともに行うという点では私たちの求める授業展開であったが、入学するために多くの書類が必要であるなどの手間がかかってしまう。また同大学の取り組みとして「エクステンション講座」というものがある。これは、一般の人も申し込みをし、受講料を支払えば講座を受講できる。申し込みは電話やウェブサイトで行えるため手間はかからないが、大学生や10代の申込者数はほとんどいないため、私たちの目的である「異世代間の交流」は図れない。

3. 研究テーマの課題

高齢化の進展の伴う「地域コミュニティの弱体化」、「退職後の生きがいの喪失」といった問題に着目した。

4. 課題解決策 (新たなビジネスモデル・理論など)

エクステンション講座で人気のある分野に似た横浜市立大学の履修科目を高齢者も自由に受講できる制度を組み立てることにした。

5. 研究・活動内容(アンケート調査、商品開発など)

高齢者が興味を持つ分野を把握するために、横浜市立大学が地域貢献の一環として開講するエクステンション講座(公開講座)の受講者状況のデータの分析を行った。

6. 結果や今後の取り組み

エクステンション講座のデータの分析から3つの講座の中で、教養系の講座が高齢者の割合が高いと分かった。その分析をもとに、 人気の講座を、横浜市立大学のそれらに類似する通常の講義の中で、高齢者と学生がともに学ぶことができないかという提案したが、今後はこの提案の、より具体的な実現可能性の検証を進めたい。

7. 参考文献

横浜市立大学 HP〈http://www.yokohama-cu.ac.jp/〉 2016 年 8 月 25 日

立教セカンドステージ大学 HP〈 http://www.rikkyo.ac.jp/academics/lifelong/secondstage/2016 年 9 月 2 日 高校偏差値〈http://hennsati.seesaa.net/article/103943365.html〉

総務省 平成 24 年度情報通信白書

(http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h24/html/nc112120.html)

鈴木 隆雄 2012 『超高齢社会の基礎知識』(講談社現代新書)

村田 裕之 2014 『成功するシニアビジネスの教科書「超高齢社会」をビジネスチャンスにする"技術"』 (日本経済新聞出版社)

水戸 英則 2014 『今、なぜ「大学改革」か? 私立大学の戦略的経営の必要性 』 (二松學舎ブックス)

岩崎 保道 2016 『大学の戦略的経営手法』 (大学教育出版)

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

特になし

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となります。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、 A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。